

時の流れは速いもの



梅澤 秀樹

(中小企業診断士)

Hideki
Umezawa

時の流れは本当に早いものです。

私が高校1年生のころ、地理の授業の時、先生が授業開始前に必ずお話された言葉があります。

「少年老い易く学成り難し
一寸の光陰軽んず可からず
未だ覚めず池塘春草の夢
階前の梧葉已に秋声」です。

これは中国南宋の儒学者である朱熹の偶成にある言葉です。

口語訳は次のとおりです。

(人間の)青年時代は(時の経過が早く)いつのまにか年老いた時を迎えがちなものであるが、(それに反して)学業はなかなか成就しないものである。(それゆえ若い時代には)わずかな時間でもゆるがせにはならない。

池のほとりの堤に萌え出る若草のような(青年時代の)夢がまだ覚めきらないうちに、階段の前の青桐の葉は、はやくも秋風に吹かれてさびしく音をたてて(散って)いるのである(から)。福岡攻玉木鶏クラブ(平成21年2月 例会より抜粋)

若い頃は、先生はお年だから、そんなこと話されているんだろう。僕達にはまだまだ先があるから、今は全然関係ないなんて考えていました。しかし、気がつくと今年の誕生日で70歳になります。気持ちは若いですが、身体のあちこちにガタがきています。若い頃は徹夜での書類作成もよくやりましたが、今ではとても無理です。最近、若い方と同じようにやっていくのは無理なので、歳相応にやれば良いのかなと思っています。

時はそこに留まらず、自分では気がつかないうちに流れて行きます。振り返ると、あの時こうしておけば良かったとか、反省することばかりです。しかし、過去には戻れません。前向きに、明るい心の未来志向で行きたいと思えます。

高校三年当時の地理で習った国連加盟国数は132でした。私は安定した日本が頭にあり、国の数が変わるなんて考えてもいませんでした。それが現在では193(2023年1月1日現在)にもなっています。なくなったり、独立したりで、今の受験生は国の名前を覚えるだけでも大変です。現在、世界の色々な所で紛争が起きてい

ます。これを見るたびに心が痛みます。争いの無い、平和な世界になれるよう、心から願っています。

また、光陰矢の如しと言う言葉も有ります。

若い頃の1日は非常に長く感じられますが、最近日はにちの過ぎるのがあつという間です。小学生の頃は夏休みの宿題は1日有れば全部できるなんて考えていました。しかし、それはとんでもない間違いでしたが。大学生になると一年生、二年生の頃は山の登り道のように、まだまだ先が有ると考えていましたが、三年生からは今度は坂を転げ落ちるように時間が経ちました。私は剣道部に在籍していたこともあり、一年生、二年生の頃は本当に厳しい稽古と、まだまだ体力がなかったことから非常に長く感じたのかもしれませんが。合宿の時は特に大変で、一年生の頃は厳しい稽古でヘトヘトになるのですが、稽古が終わるとすぐに学生食堂に走り、テーブルを拭いたりしたものでした。

今、振り返ってみると、人生の終盤に差し掛かっています。本当に人生はあつという間です。終活と言う言葉もよく言われていますが、身の回りの物を小綺麗にしておかなければならないと切実に思います。

断捨離と言う言葉が流行っています。断捨離とは、単に不要な物を処分するだけでなく、物にとらわれずに生きていこうとする考え方そのものを指すそうです。断捨離は片付け論の一つであり、ヨガの「断行」「捨行」「離行」という3つの考え方に基づいて提唱されたそうです。「不要な物を断つ、捨てる、物から離れる(執着しない)」という生き方を目指すことが、断捨離の本当のあり方だそうです。(参考出典 GROWWOMENLEADERS 田村彩乃氏)

身の回りには書類が山積みです。後で見ようとか、後で処理しようとする、記憶も曖昧になります。その時は面倒だと思ってもやはり、その場その場で処理することが大事です。いらぬ書類やものを断捨離することで、生活空間もスッキリしますし、気持ちもスッキリします。

皆様方は時に流されずに、将来なりたい姿を目指して、計画的に今なすべきことを着時に実行していただけたらと思います。

情報連絡員合同会議を開催

本会は、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役職員（19業種、48名）を情報連絡員として委嘱し、毎月の連絡員からの景況報告をもとに業界の現状及び問題点についての情報提供を行っています。（本誌6・7ページ参照）。

10月27日、連絡員の情報交換のための合同会議を本会研修室（高松市）において開催し、19名の出席がありました。はじめに「消費者志向経営の推進について」をテーマに消費者庁新未来創造戦略本部政策企画専門職松本由香氏・政策調査員細川鮎美氏よりご講演いただきました。続いて、最近の県内中小企業における景況と問題点について本会担当者より説明の後、各業界を代表して4名の連絡員の方より下記のとおり具体的な発表がありました。

令和5年度 情報連絡員の報告概要

<繊維・同製品（手袋）>

今年の残暑は異常だった。通常手袋の出荷は9月から一気に増加するものだが、あまりの暑さで取引先も納品の後倒し希望が多発している模様。売上が10月にずれ込むケースが目立っている。ただ受注自体は総じて悪くはない。



▲日本手袋工業組合
村井事務局長

<木材・木製品（家具）>

コロナ感染症が5類移行後、家具小売業界は大きく低迷している。円安の影響により原材料価格の高騰は続いており、先行きの不安感が大きくなっている。当組合は香川県産広葉樹の活用を力を入れ、「100% MADE IN SANUKI PROJECT」を軸にブランディングとSDGsに繋がる活動を推進させている。



▲香川県家具商工業協同組合
白井理事長

<小売業（電機）>

家電は売れていない。IT・PCがらみのハードやソフト及び周辺機器がよい。コロナでそういった環境が整い在宅勤務やZOOMなど、その機械回りを整備しているように思われる。全国的に会員の減少が止まらないのが悩みである。



▲香川県電機商業組合
古川理事長

<運輸業（貨物）>

燃料価格の高騰により小規模事業者の集まりであるトラック業界は、荷主の立場が強いので、価格転嫁は簡単ではない。「物流の2024年問題」では、トラックドライバーの時間外労働960時間上限規制と改正改善基準告示が適用され、労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、「モノが運べない」可能性が懸念されている。



▲一般社団法人香川県トラック協会
齋藤専務理事



▲会議の様子

<印刷（印刷）>

用紙の値上げがここ数年で5回も行われており、その他の資材や燃料費が高騰し、利益を圧迫している。人材不足で作業が追いつかない。著作権の適切な取り扱いについて、パンフレットを全国1963の自治体宛に発送し、知的財産権の健全な保護に向けて周知するなどの取り組みをしている。

<鉄鋼・金属（鍍金）>

電気メッキ業だけに、電力料金の高騰はなかなか価格転嫁できるものではなく、各組合員一様に頭を悩ませている。関連して原材料・燃料は「高止まり」の状態である。もう一つの悩みは採用難である。それを補う為の省力化・設備投資・現有人員賃金アップ等が肝要である。但しアフターコロナは、受注の回復で実感しており、また輸出企業であるメーカーと取引している限り、昨今の円安はその発注企業にある種の恩恵が有るのも事実で、裏腹でもある。

<商店街（高松市）>

商店街の通行量がコロナ禍前の数字に戻りつつある。年後半の売上は前年比5~10%増で推移している。

当日欠席の連絡員からは事前に業況報告を頂いており、上記報告には欠席者の報告も含んでいます。

中央会だより 2

組合事務局代表者等研修会を開催

10月3日及び11月7日にホテルパールガーデン（高松市）において、講師に社会保険労務士の佐藤秀樹氏をお迎えし、組合事務局代表者等研修会を開催しました。

10月3日は、「兼業・副業の解禁と、それに伴って必要になる企業での労務管理！」をテーマに説明いただき、組合関係者ら40名の出席がありました。

厚生労働省では、「働き方改革実行計画」を踏まえ、企業も働く方も安心して兼業・副業を行うことができるようルールを明確化するためのガイドラインを平成30年に作成、令和2年9月に大改正がなされました。

当日のセミナーでは、今回改定された最新のガイドラインに基づき、企業が押さえておくべき実務上のポイント「労働時間管理」「副業・兼業への制限」「健康管理・労災」の3つの視点より具体的な事例を用いて解説いただきました。

11月7日は、「2024問題と“正しい”36協定の結び方・運用の仕方」をテーマに、説明をいただき、組合関係者ら46名の出席がありました。

労基法36条に基づく「労働時間の延長の限度等に関する基準」の適応除外となっている建設業、自動車運転の業務に対する労働時間の限度規制が2024年4月から適応されます。改正法施行まで半年を切った今、早急に対応策を検討しておく必要がありまた他業種においてもこれを機に、監督行政がより一層厳しくなることが予想されております。

当日のセミナーでは、基本的な36協定の締結と届出に関する留意点についての確認並びに限度規制の見直しについて最新情報を確認するとともに、最近の裁判例などからトラブルになった具体的な事例を用いて解説いただきました。



▲研修会の様子（10月3日）



▲佐藤講師（10月3日）

中央会だより 3

小企業者組織化特別講習会を開催

11月8日、高松国際ホテル（高松市）において小企業者組織化特別講習会を開催、組合関係者ら35名の出席がありました。

令和2年に改正された労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等によるセクハラ、マタハラに関する対策強化と併せて、令和4年4月からパワハラ防止の措置が中小企業事業主も義務化となりました。

そこで講師にハラスメント防止コンサルタント東京海上日動火災保険株式会社広域法人部シニアマイスター横山昌彦氏をお迎えし、「3大ハラスメント対策」をテーマに現状とリスクマネジメントについてご講演いただきました。



▲横山講師



▲研修会の様子

FROM青年部 1

「集まれ!!ちびっ子職人 ~みんなでしようお仕事体験in牟礼北小学校～」を開催

11月19日、高松市立牟礼北小学校(高松市)にて「集まれ!!ちびっ子職人~みんなでしようお仕事体験in牟礼北小学校～」を開催しました。本事業は、本会青年部及び会員企業が、各業界の特色を活かした体験型ワークショップ等を実施することにより、「働くことの楽しさ」や「技術の素晴らしさ」を直接地域の子ども達へ伝え、香川県内の様々な業界に興味を持ってもらうことで、組合並びに各業界のPRを図ることを目的としています。

2019年9月に初めて、地域の小学校(高松市立一宮小学校)を会場として、「出張型」お仕事体験を開催し、今回第2回目の開催となります。

今年度は牟礼北校区青少年健全育成連絡協議会との共催により、地域のお祭り「ふるさとまつり」と合同で実施しました。当日は、青年部会員9組合が、趣向を凝らしたブースを展開しました。たくさんの児童の参加があり、保護者の方々も含め、楽しみながら業界の仕事内容や技術力の素晴らしさを感じて頂くことができました。

出展ブース



▲スーパーボールすくい
(庵治石開発協同組合青壮年部)



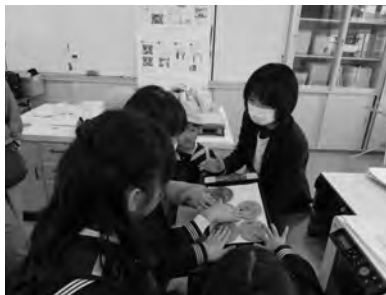
▲高所作業車体験
(香川県電気工業組合青年部)



▲アイアンフックエンド作成
(香川県鋼構造協同組合青年部)



▲射的パイプ工作
(高松市上下水道工業協同組合青年部会)



▲AI似顔絵体験・コースター、ファイル作成
(香川県印刷工業組合青年部会)



▲石付き盆栽作成
(香川県造園事業協同組合青年部)



▲タイルアート工作
(香川県建築事業協同組合青年部)



▲ラジコンコンボ体験
(建設協同組合高松総合センター青年部)



▲バラエティーバン販売
(香川県バン協同組合(吉田製バン所))

FROM青年部 2

「四国ブロック交流会」を開催

10月19日、香川県において「四国ブロック交流会」が開催され、四国各県より12名の参加がありました。

今年度の交流会は人口の減少問題への脱却のため、島全体でアートを盛んに取り入れたことで、アートの島として知られている直島の見学を行いました。

午前中は、空き家を改装し、家をまるごとアート作品にする取り組みがおこなわれている「家プロジェクト」を、午後は安藤忠雄氏によって設計され、アートと光と自然を感じられる「地中美術館」を訪れました。

参加者はアート作品の非日常な空間の中で、自分の価値観と向き合ったり、感性を研ぎ澄ましたり、美意識を磨くことができました。

その後、会場を高松市内に移し開催された懇親会では、OBも交え、11月に高知県において開催される全国講習会を四国ブロックとして盛り上げるべく意見交換が行われ、終始和やかな雰囲気のもと、盛会のうちに終了しました。

【青年部に関するお問い合わせ】

香川県中央会 事業振興部(TEL 087-851-8311)



▲地中美術館



▲懇親会

会員ニュース 1

「県産の新小麦『さめきの夢2023』うどん試食会」を開催

本場さめきうどん
協同組合

11月18日、19日の2日間、丸亀町グリーン(高松市)において、本場さめきうどん協同組合(大峯茂樹理事長)を始めとする「『さめきの夢』推進協議会」が主催し、新品種の「さめきの夢2023」を広くPRしようと県産新小麦さめきの夢2023を100%使用したうどんの試食会が開催されました。

県産新小麦さめきの夢2023は、香川県で開発されたさめきの夢の三代目で、タンパク質の含有量が多く、さめきの夢2023で作られたうどんはコシの強さともちもちとした食感が特徴です。

11月6日に池田香川県知事が試食した際、「香り、うまみのある味、ピカピカの見た目がそろった三冠王である」と感想を述べられていました。

試食会は、2日間で2,000食が無料で提供され、家族連れらが大勢訪れ、温かいうどんに舌鼓を打っていました。

大峯理事長は「さめきの夢2023で打ったうどんは、程よい弾力とねばりが特徴で、うま味が強い。おいしいうどんを皆様に味わってほしい」と仰っていました。



▲会場の様子

会員ニュース 2

「たかまつ元気DAY!2023」を開催

協同組合日専連高松

協同組合日専連高松(津村潤治理事長)は、11月23日、高松中央商店街8町全域において、「たかまつ元気DAY!」を開催しました。昨年12月に開催され好評を博したイベントをバージョンアップ。商店街を周遊しながらスポーツの楽しさや健康の大切さを実感してもらうことを目的に企画開催されたものです。

当日は、トライアスロンやパラスポーツ、貯筋運動などのスポーツ・健康体験の他、ダンスや新体操などのパフォーマンス「元気ライブステージ」や、歩行領域モビリティ、eスポーツなどの先進的・実験的企画、地元香川のプロスポーツブース、動物愛護コーナーなど多彩な催しが終日展開され、各ブース大勢の人で賑わいました。

また、オープニングセレモニーでは、スポーツツーリズム(観光×スポーツ)の振興に寄与し、高松市民の健康増進と公衆衛生の向上を図ることを目的に、香川県ホテル旅館生活衛生同業組合(三矢昌洋理事長)と包括連携協定を締結しました。







▲ステージイベントの様子














































酷暑が一服し人流が増加したことや、十分ではないものの価格転嫁が一部浸透してきたが、人手不足・人材確保の問題やそれに伴う人件費の上昇が引き続き多くの業種で収益力の足かせとなっている 2023年10月

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月から輸入小麦が5銘柄平均で11.1%引下げとなり、大手製粉業者から業務用小麦粉の値下げ発表(令和6年1月10日納品分より)があった。値下げ額は、業務用(25kgあたり)で強力粉は225円、中力・薄力粉は310円、国産小麦粉は335円である。(製粉製麺) ●組合員の出荷量推移は前月対比104.1%、前年同月対比で92.7%(9月分)である。10月定例会においても原料高騰と人材不足の問題が取り上げられた。(調理食品) ●日本冷凍食品協会による8月の冷凍食品生産数量は昨対89.4%となり、昨年の9月以降12か月連続で前年実績割れとなった。カテゴリ別では、フライ揚げ物類が89.9%と健闘したもののフライ類以外の調理食品が89.7%、菓子類が75.4%となり、特に菓子類の低迷は著しい。業態別では、市販用が88.5%、業務用が91.0%と両業態ともに昨対割れとなった。10月から香川県冷凍調理食品製造業の最低賃金(地域別最低賃金と同額)も前年から40円上昇した。原材料をはじめ、様々なものの値上げがりに人件費上昇も加えた価格転嫁の実施により、事業継続と人材確保を行っていかなくてはならない。(冷凍食品)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●記録的な暑さの8、9月であったが、UVケア手袋は実売では好調であった。また、あまりに暑い9月が故に、納期の後倒し依頼が発生し、10月への出荷のずれ込みが発生している。よって、9月末の在庫は瞬間的に増えたところもある。皮革・合成皮革手袋については、ほぼ前年並みかやや悪化であった。繊維製手袋については強含み傾向は続くが、低価格帯の商品の受注増が顕著なのは変わらない。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光、外食、イベント等への消費の変化及び円安、物価高の影響が続いており、家具業界全般に悪い状況が続いている。当組合のうち数社はBtoCの強化や、新しい(今までとは別の)市場開拓に取り組んでいる。(家具) ●木材需要の減少により、一部の製品について価格が値下がり、前年の急な高騰から安定価格に戻ったが、業界の悪化状況は続いている。(製材) ●建築資材の流通価格の変動は、素材や地域により差異が生じるが、先般より高値止まりだった価格が値戻りしてきている。しかし、まだ住宅着工戸数には反映されず伸び悩みが続いている。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月の売上は全体的に鈍く低調であった。インボイス制度が始まったが、まだ様子が掴めていない状況である。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●6月の価格改定が浸透しており、連合会共販においても、2年後を目途に請求入金等の1本化が進んでいる。今後の課題として、輸送等の人員確保、輸送の効率化がある。(生コン) ●気温が下がり始め、市場が動き始めたが、新規の仕事は少ない。リフォームやクリーニング等、既存の仕事に対する追加案件ばかりで、収益性は低い。このままでは組合員の事業存続や技術継承が難しくなる。(石材加工) ●インボイス制度、物価高の影響を受けて、大変難しくなっていると聞いている。産地全体で加工賃の値上げに踏み切る時期にきているのではとの声が多く、検討している状況である。(石材)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●採用は特に弊組合・組合員の永遠の課題であり、他県ではTVCF、初任給の大幅な引上げ等を実行している。顕著な改善、成果までには繋がっていないようであるが、「続ける」事が肝要として、大いに参考としているところである。同市場は、女性、高齢者、外国人技能実習生等が叫ばれて久しいが、真剣に環境整備を進める事こそ大切である。(鍍金) ●建築鉄骨業界の業績は前年並みで推移しているが、鋼材価格の上昇・図面決定の遅延、人手不足など課題も山積である。従って、働き方改革などの取り組みに加え、物流の2024年問題も大きく影響し課題は山積である。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●前月と同じく業況は変化ない。人員も仕事量も大きな変化はなく、低調に推移している。(造船)
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●落ち着いた漆等の原材料が、また値上がり傾向になり、収益は悪化している。10月と11月は、各地で催事があり、売上増を期待しているが、物価高騰により不急不励の消費財に対する買い控えが心配である。(漆器) ●10月の業況は前年同月と比べて少し増加した。月初めから小売店の売上が少し減少したが、だんだん忙しくなり売上が増加した。11月から防衛省発注の仕事があるので、来月は楽しみである。(綿寝具) 	
非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●業務用関係はイベントの効果があり、そこそこの売上を出しているが、全国的な野菜高により消費者は買い控えの傾向にある。(青果物) ●燃料油激変緩和補助金が継続されており、販売価格は9月よりも下がっている。組合員は一般的に価格を下げるのは早いタイミング、上げるのはなかなかできないところが多いため、適正利益を確保するためにも、今後の石油価格に注意していく。丸亀市の広島にある給油所を運営していた会社が廃業したが、その後をNPO法人が引き続き事業継承を行っている。県外安売業者の進出により、周辺地域SSへの収益悪化の影響がある。不当兼売がある場合は、全石連への報告を行う予定である。(石油) ●パソコン本体やIT関連周辺機器の動きがよい、家電はいまいち。組合員の脱退に歯止めがかからない。テールゲートリフト車の運転者講習、アスベスト調査、電子帳簿保存、加えてインボイスなど商売の邪魔をするような制度を御上が出してくるのに対応が間に合わない。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月に入り、急に朝晩の気温が下がり、しのぎやすくなり、秋物商戦には追い風となった。物販店は総じて前年売上を超えるところが多かったものの、通行量の伸びに対しては、売上は追いついておらず、街の賑わいが店舗の売上には比例していない。(サービス系や飲食は堅調に維持されている。)マスク生活を続ける人がまだまだ残る中にあっても、コロナウイルス感染リスクは、かなり低減された印象で、多くの人が気兼ねなく外出や交流でき、催しや会合に参加したり、旅行、レジャーを楽しめ、従来の生活を取り戻しかけていると感じられ、関連の商品やサービスの需要伸長に期待をしている。ただ、長引く物価高により、10月も生活必需品等の値上げは留まるところを知らず続いており、消費者が財布の紐を固くせざるを得ない状況も変わらず継続している。8月にオープンした総合ディスカウントストアは、商店街に

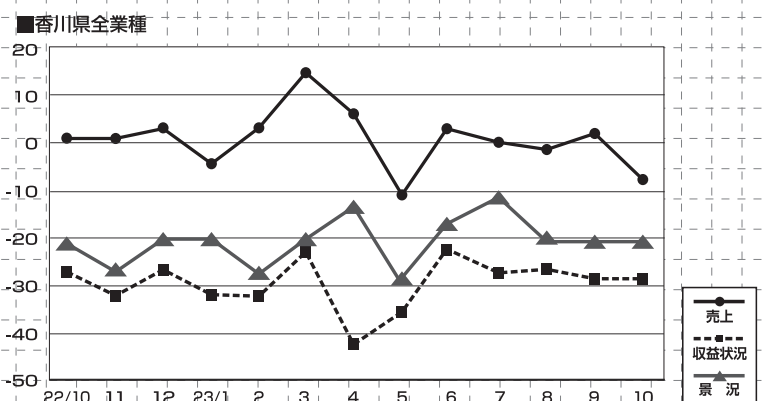
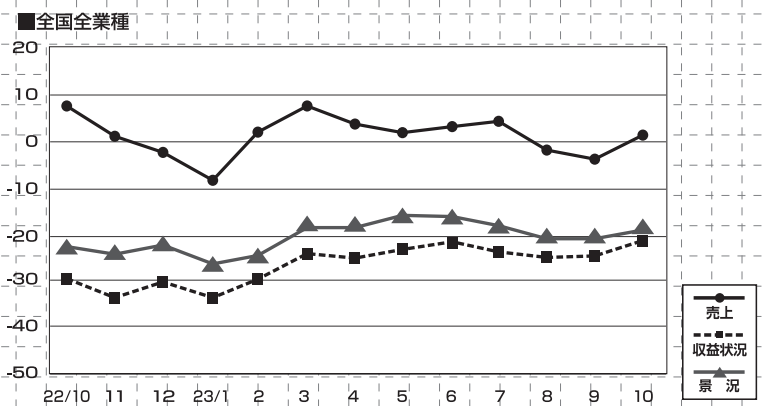
10月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-6.3ポイントで前月調査の2.1ポイントから8.4ポイントの悪化、収益DI値は-29.2ポイントで前月調査と同値、景況DI値は-20.8ポイントで前月調査と同値であった。

非製造業	商店街 	<p>従来ない客層を取り込んでもらっており、特に夜の集客に力を発揮し、オープン効果も続いている。また、一時期止まっていた商店街への新規出店希望も再び増加しており、今秋から来春までの間に多くのサービス、飲食、物販店が商店街内でのオープンを予定しており、頼もしい。来春には、JR高松駅の駅ビルも増床オープンする事から、相乗効果が期待され、今から楽しみである。インバウンドは10月も長期休暇があった中国を中心にヨーロッパの方も含め、多くの人が訪れているが、ドラッグストアが観光関連施設、一部の飲食等にしか恩恵はなく、商店街の需要の取り込みには課題が残る。(高松市①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●初旬から日中の人通りは少なく、飲食関係も良くない話を耳にすることが多かった。物価高騰により、送料等諸経費高騰で利益幅が薄くなってきている。消費者側の目線では、買い控える結果になっており、気温も影響したと思われる。対照的にインバウンドのお客様の明るい笑顔は、円安で嬉しいのか、楽しい接客に癒やされる時間もあった。下旬に入り、マスメディアで「11月頃の気温」について流れた一瞬は買い物袋を持っている人達が増えているように見えた。夜の人通りは相変わらず若者達で賑わっている。祭り等あちらこちらで数多くのイベントが繰り広げていて、人々の動きが大きく流れた。県外客も多かったようにみえた。インボイス制度も始まり、慣れない雑務にも追われて大変な10月であった。(高松市②) ●異常に暖かい10月で雨も少なく、高齢者などは外出しやすい環境だったが、「消費の意欲の低さ」を引き続き感じた。最終土曜日(10/28)に街の有志団体が「ハロウィンイベント」を行い、この日だけは人があふれて賑わった。このようなイベントを頻繁に行える、人的・金銭的な環境作りが必要だと思う。(丸亀市) ●当店の形態(化粧品チェーン店)の、他市町販売店の閉店(廃業)が複数間こえてきて、年末か年度末に、後継者不在で閉店する店舗がある。この業界は、顧客は接客販売員に付くので、簡単に平行移動とはならないが、販路拡大のチャンスではある。どの業種も同じ様な局面はあるのではと思う。(観音寺市)
	サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍以降の売上げが低迷する中、社会の風潮を受けてのジェンダーレス化が進む美容業界では、お客様の男性、女性と言った性別ではなく、一人一人のお客様の個性に合う接客へとシフトしている店舗が増えて来ていて、女性の刈上げスタイルや、男性のフェイシャルエステなど、垣根を越えた技術商品を増やし、売上げ増への技術開発を進めている店舗が増えてきた。(美容)
	建設業 	<ul style="list-style-type: none"> ●建設資材等の高騰が急速に加速する中、仮に公共工事予算が前年並みだとすると、必然的に発注件数は減少に繋がる。また、時間外労働の上限規制の猶予期間も間もなく終了となるが、人手不足は相変わらず解消されず、一人当たりの負担は依然大きい。限られた時間の中で、大きな改革が必要とされている。(総合建設)
	運輸業 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年9月の輸送実績は、対前年同月比で、営業収入121.8%、輸送人員110.9%と増加した。(タクシー) ●令和5年9月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は4.1%減となり、対前月比では1.8%増となった。また、9月分利用車両数の対前年同月比は3.8%減となった。(トラック)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品			
	繊維工業			
	木材・木製品			
	印刷			
	窯業・土石製品			
	鉄鋼・金属製品			
	輸送用機器			
	その他			
非製造業	卸売業			
	小売業			
	商店街			
	サービス業			
	建設業			
	運輸業			
	その他			

DI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧いただけます。
<http://www.chuukai-kagawa.or.jp/>

商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリーS・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED…Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実に向けたサポート強化

(お客さまライフステージ)



本業支援 事業性評価を起点とした本業支援
○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援 お客さま支援の基本となる金融支援
○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。
【お問い合わせ先】
**株式会社商工組合中央金庫
高松支店**
〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に業況悪化を来しているみなさまを対象とした「新型コロナウイルス感染症特別貸付」を取り扱っております。くわしくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○新型コロナウイルス感染症特別貸付の概要

ご利用いただける方	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な業況悪化を来している方であって、次の1から3のいずれかに該当し、かつ中長期的に業況が回復し、発展することが見込まれる方 1.最近1か月間の売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高が前5年のいずれかの年の同期と比較して5%以上減少している方 2.業歴3か月以上1年1か月未満の場合等は、最近1か月間の売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高(業歴6か月未満の場合は、開業から最近1か月までの平均売上高)が次のいずれかと比較して5%以上減少している方 (1)過去3か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高 (2)令和元年12月の売上高 (3)令和元年10月から12月の平均売上高 3.債務負担が重くなっている方(注1)		
お使いみち	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会的要因等により必要とする設備資金および運転資金		
融資限度額(いずれも別枠)	国民生活事業	8,000万円	
	中小企業事業	6億円	
ご返済期間(うち据置期間)	設備資金20年以内(うち据置期間5年以内) 運転資金20年以内(うち据置期間5年以内)		
利率(年)(注2)	国民生活事業	6,000万円以内の部分	融資後3年目まで:基準利率-0.5% 4年目以降:基準利率
		6,000万円を超える部分	基準利率
	中小企業事業	4億円以内の部分	融資後3年目まで:基準利率-0.5% 4年目以降:基準利率
		4億円を超える部分	基準利率
担保	無担保		

(注1)一定の要件を満たす必要があります。要件の詳細は、お近くの支店にお問い合わせください。

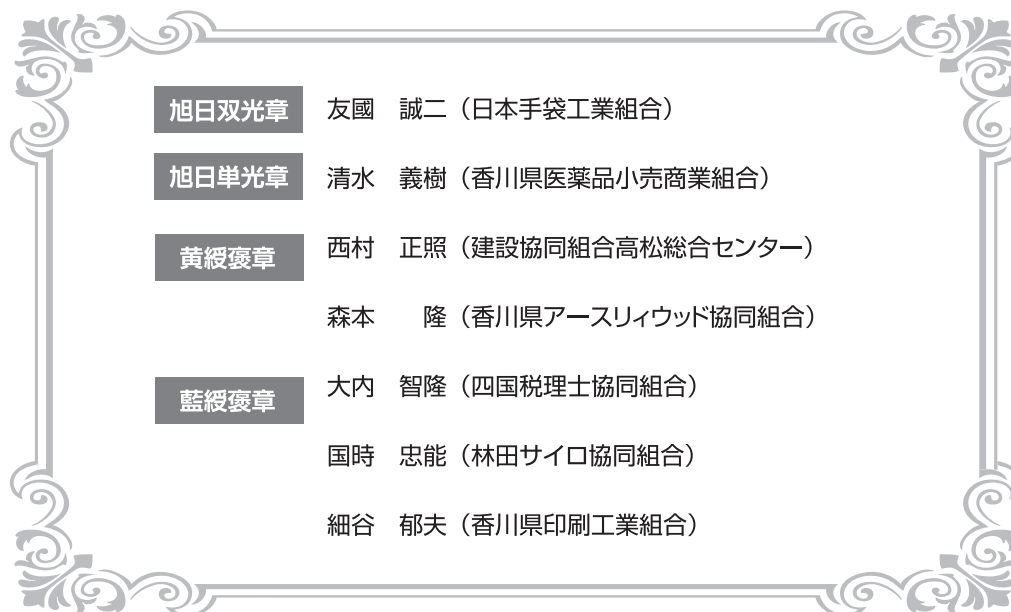
(注2)基準利率は、災害発生時の融資制度に適用される利率(融資期間に応じた所定の利率)が適用されます。主な貸付利率は日本公庫HPをご覧ください。

〈支店窓口〉 **株式会社 日本政策金融公庫 高松支店**
URL: <http://www.jfc.go.jp>
〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274
中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

栄えある受章、おめでとうございます

秋の叙勲並びに褒章を受章されました会員組合代表者等の方々をご紹介します。（順不同・敬称略）



事業主さん

安心・有利・手軽な
国の退職金制度を活用しませんか。



中CHU退TAI共KYO
小企業 職金 済制度

詳しくは
ホームページをご覧ください。

中退共

検索

国の退職金制度
掛金の一部を国が助成します。

掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

外部積立型で管理も簡単
退職金試算額などをお知らせします。

(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	続 窓ぎわのトットちゃん	黒柳徹子	講談社/1,650円
2	バンドろぼうとほっかほっかー	柴田ケイコ	KADOKAWA/1,430円
3	新版 科学がつきとめた「運のいい人」	中野信子	サンマーク出版/1,650円
4	星を編む	凧良ゆう	講談社/1,760円
5	今日、誰のために生きる?	ひすいこたろう SHOGEN	廣済堂出版/1,760円

香川県書店商業組合調べ